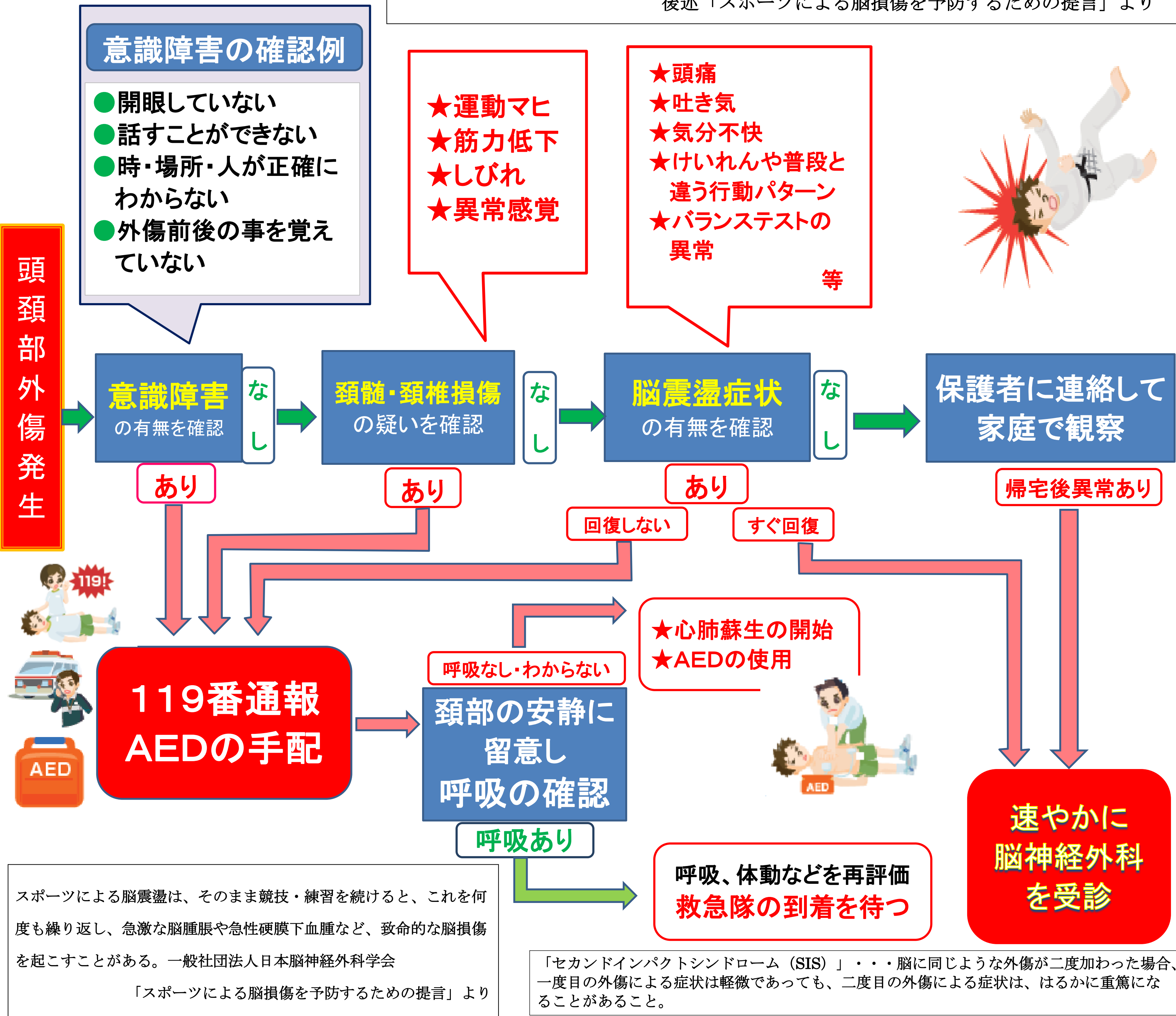


# 注意!

- 頭頸部や顔面に強い衝撃を受けた時は
- ◇安静にし、すぐに専門医の診察を!
- ◇本人が「大丈夫」と言っても競技に復帰させない!
- ※意識があっても生命にかかわる場合があります

## 頭頸部外傷発生時の対応フローチャート

スポーツによる脳震盪は、意識障害や健忘がなく、頭痛や気分不良などだけのこともある。  
後述「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」より



スポーツによる脳震盪は、そのまま競技・練習を続けると、これを何度も繰り返し、急激な脳腫脹や急性硬膜下血腫など、致命的な脳損傷を起こすことがある。一般社団法人日本脳神経外科学会  
「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」より

「セカンドインパクトシンドローム (SIS)」・・・脳に同じような外傷が二度加わった場合、一度目の外傷による症状は軽微であっても、二度目の外傷による症状は、はるかに重篤になることがあること。

『練習、試合への復帰は慎重に』・・・スポーツへの復帰は慎重にし、必要に応じて脳神経外科専門医の判断を仰ぎましょう。  
フローチャートは、独立行政法人日本スポーツ振興センター『スポーツ事故防止ハンドブック』より  
監修:長野県日体協公認スポーツドクター協議会  
作成:長野県教育委員会事務局スポーツ課学校体育係

「あたま」や「かお」をつよくぶつけたときには、  
すぐに先生につたえよう!  
むりをしてうごかずに、そのばで休んでいよう!